

令和2年度第38回広島市立広島特別支援学校中学部卒業証書授与式
校長式辞

南校舎を建てるために、中学部の農園が使いなくなりました。その代わりに、プランタで野菜を育てました。その一つ、そらまめが冬の寒い日々が続く中、大きく生長しています。もうすぐ春、白い花を咲かせています。

中学部第3学年の31名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。令和元年11月に、同級生が亡くなり星となって私たちを見守ってくれています。今日は、一緒に卒業証書授与式です。だから、31名なのです。友達と一緒に勉強し、活動し、友達を大切にしてくられました。心優しい皆さんに、大きな拍手を贈ります。皆さんが立派に成長できたのは、皆さんの努力とお父様、お母様、家族の方々のお陰です。

暑い日も、寒い日も、大粒の雨が降る日も、強い風が吹く日も、元気で頑張ってもらいたいと願いながら今日の日を迎えられました保護者の皆様、お子様の御卒業、誠におめでとうございます。昨年からは、特に新型コロナウイルスの感染が御心配でしたでしょう。一日一日生きていくことへの望をもちながら今日の日を迎えられました。中学部という大きな山を越えられたお子様を支え、育てあげてこられた保護者の皆様に深甚なる敬意を表します。今後とも、本校の教育にお力添えを賜りますようお願いいたします。

さて、卒業生の皆さんがしっかりと受け取られた卒業証書。平和記念公園にある原爆の子の像に全国から、世界から捧げられた折り鶴の再生紙で作られています。本校の卒業生が働いている事業所で、心を込めて作っていただいたものなのです。これからも歩いていくこの社会が、いつまでも平和でありますようにという願いが込められています。

中学部の3年間、たくさんの思い出ができました。中学部1年生で忘れられないのは、校内宿泊。夜の七夕コンサート、みんなで作ったおいしい夕食、なかなか寝付けなかった学校での一泊でした。2年生では、野外活動。キャンプファイヤーの終わりに見た「なかま」の火文字。きれいだったキャンドルロード。友達との絆が深まった。3年生では、新型コロナウイルス感染が拡大して11月になった修学旅行。錦帯橋の川原で披露したボディパーカッションに、たくさんの拍手をいただいた。学習係、生活係、保健係、責任をもってやり遂げた。運動会の中止。代わりに行った、中3だけの「リレー大会」、「体育発表会」。皆さんが、一生懸命に取り組む姿に胸を打たれた。文化祭中止。でも「中学部まつり～あつまれ！中3の森」を行った。店出しをして、手作りのお土産をプレゼントした。友達と協力してやり遂げた。「マナー学習」として、他の学級の友達を迎えて飲み物やお菓子でのおもてなしの学習をした。思いやりの心を学んだ。進路の学習として「森の工房やの」に職場見学に行った。先輩の皆さんが働く姿に感動した。卒業生の皆さんは、たくさんのことに挑戦し、体験、経験を通して、心も体も大きく成長した3年間でした。

皆さんは、4月から高等部に進学されます。「明るく 元気に たくましく」挑戦されま

すことを応援します。

令和3年3月16日

広島市立広島特別支援学校長 中尾秀行